

# 愛媛県感染症発生動向調査事業報告書

平成 20 年 (2008 年)

愛媛県感染症情報センター

(愛媛県立衛生環境研究所)



## はじめに

平成 20 年愛媛県感染症発生動向調査事業を御報告申し上げます。

平素、当事業へのご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、ご一読の上、ご助言、ご教示賜りますよう、お願い申し上げます。

2007/2008 シーズンのインフルエンザは、過去 10 シーズンに比べ、やや小規模な流行でした。しかし、平成 21 年 5 月には、我が国において、6 月には本県においても A/H1N1 新型インフルエンザが発生しました。そして、本県では 10 月中旬より患者が急増し、今冬 12 月、流行のピークの様相を呈しております。インフルエンザの情報提供にご協力くださり、予防対策や医療を推進されておられる関係機関の皆様に厚くお礼申し上げます。

結核に関しましては、結核予防法が平成 19 年 3 月 31 日をもって廃止され、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に同年 4 月 1 日から統合されており、結核は 2 類感染症に分類されました。本県の結核罹患率(人口 10 万人対/年)は、平成 20 年は 15.2 で、前年に比べ 4.3 減少し、2010 年に罹患率を 15 以下にする目標達成に迫りました。結核の早期発見に改善がみられますが、なお今後、有症者の早期受診を促すため、普及啓発や受診促進のための対策の推進が必要と考えます。

2007/2008 シーズンの感染性胃腸炎の患者報告数は 17,859 人で、大きな流行規模でした。患者からはノロウイルスやロタウイルスが多く検出されました。なお一層の予防対策の推進が必要と考えます。

麻しんは本年、43 人の届出がありました。我が国の 2012 年麻しん排除の目標に向けて、予防接種率の向上、サーベイランスの強化など、麻しん排除に向けて一層のご協力をお願い申し上げます。

多岐にわたる感染症を監視し、有効かつ的確な感染症対策を推進するため、感染症の発生動向を把握し、その結果を感染症情報として地域に公表する重要性をご賢察いただき、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成 21 年 12 月

愛媛県立衛生環境研究所

所長 土井光徳



# 目 次

愛媛県感染症発生動向調査事業の概要	1
指定届出機関一覧	4
2008年(平成20年)感染症発生動向調査結果 - 患者情報 -	
報告週対応表	
1 全数把握対象 ー 五類感染症及び新型インフルエンザ等感染症	
(1) 一類感染症	7
(2) 二類感染症	7
(3) 三類感染症	7
(4) 四類感染症	9
(5) 五類感染症	12
(6) 新型インフルエンザ等感染症	19
表2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)	20
表2-1-2 2008年全数把握対象疾患発生状況(月別)	21
表2-1-3 2008年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)	22
表2-1-4 2008年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)	23
2 定点把握対象 五類感染症	
(1) 定点把握対象疾患 発生動向の概況	24
表2-2-1 週報対象疾患 - 週別患者報告数	26
表2-2-2 週報対象疾患 - 週別定点当たり患者報告数	28
表2-2-3 週報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数	30
表2-2-4 月報対象疾患 - 月別患者報告数	31
表2-2-5 月報対象疾患 - 月別定点当たり報告数	32
表2-2-6 月報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数	33
(2) インフルエンザ定点対象疾患(週報)	34
(3) 小児科定点対象疾患(週報)	38
(4) 眼科定点対象疾患(週報)	62
(5) 基幹定点対象疾患(週報)	66
(6) STD定点対象疾患(月報)	70
(7) 基幹定点対象疾患(月報)	76
2008年(平成20年)感染症発生動向調査結果 - 病原体検査結果 -	
1 細菌検査状況	79
(1) 全数把握対象感染症	79
細菌性赤痢	79
腸管出血性大腸菌感染症	80
レジオネラ症	81
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	82
(2) 定点把握対象感染症	82
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	82
感染性胃腸炎	84
百日咳	85
2 ウイルス検査状況	88
(1) 病原体定点種類別検体数	88
(2) 気道感染症等由来検体からの検出	90
(3) 感染性胃腸炎からの検出	96

## 2008年(平成20年)結核登録者情報

1 概況	99
2 新登録患者の状況	99
(1) 患者数及び罹患率の動向	99
(2) 性・年齢階級別	100
(3) 保健所別	101
(4) 喀痰塗抹陽性肺結核患者数の動向	102
(5) 発見の遅れ	103
3 年末現在結核登録者の状況	104
表4-1 2008年新登録患者数 - 保健所別	105
表4-2 2008年新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、性、年齢階級別	105
表4-3 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別	106
表4-4 新登録結核患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別	106
表4-5 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別	106
表4-6 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別	106
表4-7 2008年新登録患者数 - 結核病類、性、年齢階級別	107
表4-8 2008年新登録肺結核患者数 - 職業、菌情報、保健所別	107
表4-9 2008年新登録患者数 - 発見方法別	108
表4-10 2008年新登録有症状肺結核患者数 - 発見の遅れの期間別	108
表4-11 2008年新登録患者数 - 化療内容、保健所別	109
表4-12 2008年年末現在登録者数 - 保健所別	111
表4-13 2008年年末現在登録者数 - 性、年齢階級別	111

## 参考資料

1 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱	113
2 愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱	122
3 愛媛県感染症発生動向調査病原体検査要領	124
4 感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律 第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について(届出基準等通知)	132